

令和6年3月21日
総合教育会議

部活動の地域連携・地域移行 に関する資料



新居浜

< 目次 >

- **これまでの経緯、国の取組について**
- 県と県中体連の取組について
- 市の取組について
部活動の現状
検討委員会
国の委託事業によるモデルの実施
アンケート調査の結果について
- 他の自治体の取組について

運動部活動改革のこれまでの経緯・取組について

✓ 「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（平成30年3月）

生徒に望ましいスポーツ環境を構築する観点に立ち、運動部活動がバランスのとれた心身の成長等を重視し、**地域、学校、競技種目等に応じた多様な形で、最適に実施**されることを目指す。

生徒のスポーツ環境の充実の観点から、学校や地域の実態に応じて、スポーツ団体、保護者、民間事業者等の協力の下、**学校と地域が協働・融合した形で地域におけるスポーツ環境整備**を進める。

✓ 「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」（中教審答申・平成31年1月）抜粋

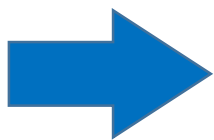
特に、中学校における教師の長時間勤務の主な要因の一つである部活動については、地方公共団体や教育委員会が、学校や地域住民と意識共有を図りつつ、地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる十分な体制を整える取組を進め、環境を整えた上で、**将来的には、部活動を学校単位から地域単位の取組にし、学校以外が担うことも積極的に進めるべきである。**

✓ 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案に対する付帯決議（衆・令和元年11月、参・12月）抜粋

政府は、教育職員の負担軽減を実現する観点から、**部活動を学校単位から地域単位の取組とし、学校以外の主体が担うことについて検討を行い、早期に実現すること。**

✓ 「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」（令和2年9月）抜粋

休日の部活動における生徒の指導や大会の引率については、学校の職務として教師が担うのではなく地域の活動として地域人材が担うこととし、地域部活動を推進するための実践研究を実施する。その成果を基に、**令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図るとともに、休日の部活動の指導を望まない教師が休日の部活動に従事しないこととする。**



令和3年度より、予算事業として「**地域運動部活動推進事業**」（2億円）を新設。
令和5年度から令和7年度までは「**地域域クラブ活動への移行に向けた実証事業**」を実施予定。

学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン【概要】

- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
 - 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
 - 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。
- ※ I は中学生を主な対象とし、高校生も原則適用。II～IVは公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・ 教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・ 部活動指導員や外部指導者を確保
- ・ 心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・ 週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・ 部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・ 地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形での環境整備を進める

II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・ 地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・ 指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・ 競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・ 休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- 公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・ 困窮家庭への支援

III 学校部活動の地域連携や 地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・ まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・ 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・ ①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める
- ※地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保

- ・ 令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・ 都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

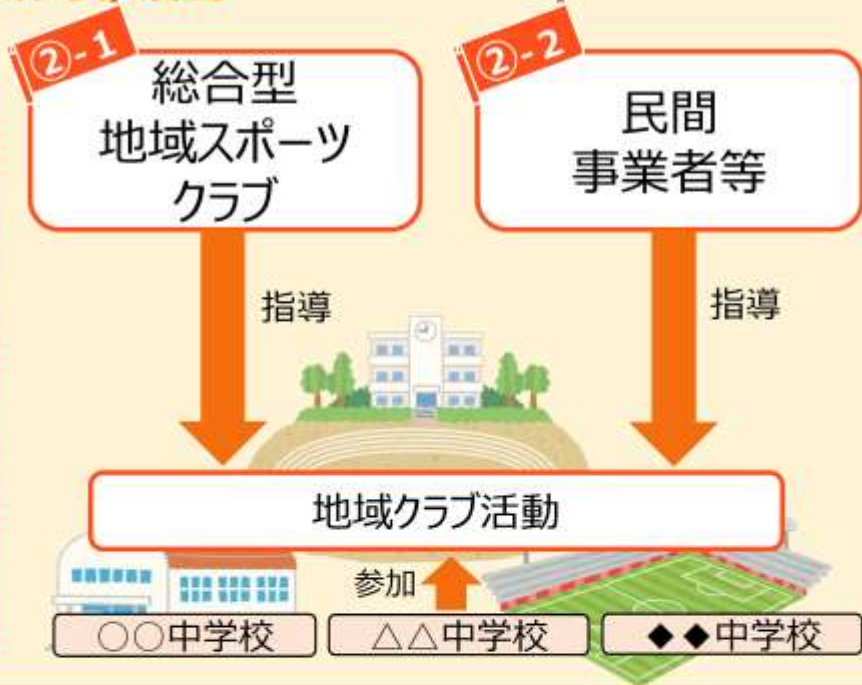
IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し
- ※日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・ できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・ 全国大会の在り方の見直し（開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

休日の地域クラブ活動



※直ちに①②のような体制を整備することが困難な場合

学校部活動の地域連携



地域スポーツクラブ活動体制整備事業等

令和6年度予算額(案) 2,738,192千円
 (前年度予算額 2,470,899千円)



令和5年度補正予算額 1,431,951千円

方向性・目指す姿

- ✓ 地域の実情に応じた持続可能で多様なスポーツ環境を整備し、多様な体験機会を確保。
 - ✓ 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保。学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
 - ✓ 自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- ➔
- ✓ 子供や大人、高齢者や障害者の参加・交流を推進する地域スポーツ活動の中に部活動を取り込む。ウェルビーイングの実現、まちづくりの推進。
 - ✓ 「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、地域の実情に応じスポーツ活動の最適化を図り、体験格差を解消。

事業内容

I. 地域クラブ活動への移行に向けた実証事業

10億円(10億円) 委託・助成
 14億円 [令和5年度補正予算額]

各都道府県・市区町村の地域スポーツの推進体制等の下で、コーディネーターの配置を含む運営団体・実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を実施し、国において事業成果の普及に努めるとともに、全国的な取組を推進する。

(1) 地域クラブ活動への移行に向けた実証 ※取組例



- 体制整備**
 - 関係団体・市区町村等との連絡調整
 - コーディネーターの配置、地域学校協働活動推進員等との連携の在り方
 - 運営団体・実施主体の体制整備や質の確保
- 指導者の質の保障・量の確保**
 - 人材の発掘・マッチング・配置
 - 研修、資格取得促進
 - 平日・休日の一貫指導
 - ICTの有効活用
- 関係団体・分野との連携強化**
 - スポーツ協会、競技団体、大学、企業等
 - スポーツ推進委員、地域おこし協力隊
 - まちづくり・地域公共交通
- 面的・広域的な取組**
 - 地域クラブ活動の拡大
 - 市区町村等を超えた取組
- 内容の充実**
 - 複数種目、シーズン制
 - 体験型キャンプ
 - レクリエーション的活動
- 参加費用負担の支援等**
 - 困窮世帯の支援
 - 費用負担の在り方
- 学校施設の活用等**
 - 効果的な活用や管理方法

- ※ 実証事業2年目となる地域クラブ活動は、原則、国費だけではなく、一定の割合の受益者負担や行政・関係団体の自主財源からの支出、企業等からの寄付などの組み合わせにより、持続的に活動することを前提とした仕組みを構築し、検証。
- ※ 平日・休日の一貫指導や市区町村を超えた取組など、地域の実情に応じた最適化・体験格差の解消を図る意欲的な取組を充実。

★ 重点地域における政策課題への対応

地域スポーツ環境の整備に先導的に取り組む地域を重点地域として指定し、政策課題への対応を推進する。

<主な政策課題>

- 多様なスポーツ体験の機会の提供
- 高校との連携やジュニアからシニアまでの多世代での取組
- スクールバスの活用や地域公共交通との連携
- 不登校や障害のある子供たちの地域の学びの場としての役割
- トレーナーの活用を含めた安全確保の体制づくり
- 企業版ふるさと納税等を含む民間資金の活用
- 体育・スポーツ系の大学生、パラアスリート等を含むアスリート人材等の活用
- 学校体育施設の拠点化や社会体育施設との一体化などによる地域スポーツの活動拠点づくり
- 動画コンテンツ等の活用
- 多様なニーズに対応した大会の開催 等

(2) 課題の整理・検証、地域クラブ活動のモデル・プロセスの分析、地域クラブ活動の整備促進等

- 事業成果の普及方策、地域クラブ活動の整備の進展に伴う新たな課題の整理・解決策の検討
- 運営形態の類型や競技ごとの地域クラブ活動のモデル・プロセス、組織マネジメント等の分析・検証
- 単一自治体での対応が困難な場合の地域クラブ活動の整備促進方策の検討 等

※1 補助割合について、都道府県又は指定都市の場合は、国1/3、都道府県・指定都市2/3。
 ※2 コミュニティ・スクール(学校運営協議会)等の仕組みも活用。

II. 中学校における部活動指導員の配置支援

15億円(12億円) 補助・助成

各中学校や拠点校に部活動指導員を配置し、教師に代わる指導や大会引率を担うことにより、生徒のコースを踏まえた充実した活動とする。(補助割合：国1/3、都道府県1/3、市区町村1/3) ※1

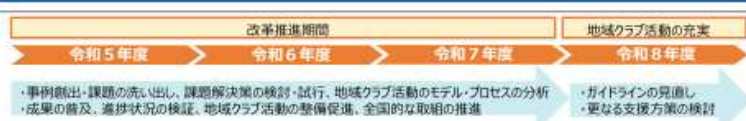
➔ 部活動指導員の配置を充実【13,000人】

III. 地域における新たなスポーツ環境の構築等

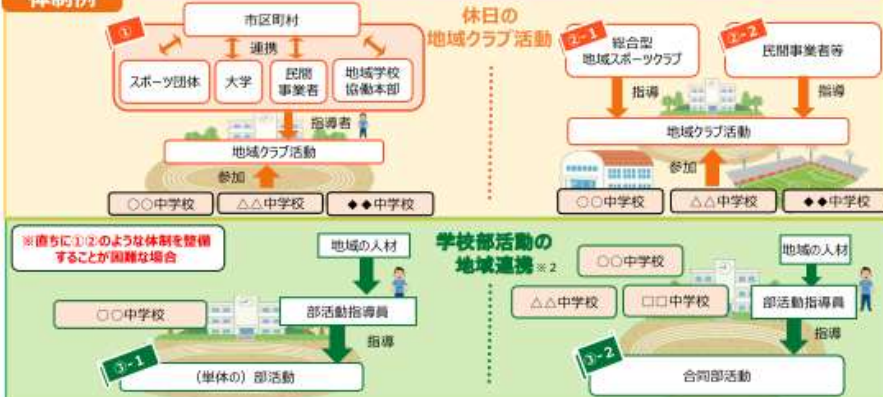
3億円(3億円) 補助・委託

- 上記の施策を支える新たなスポーツ環境の構築等のため、以下の取組を実施。
- 公立中学校の施設の整備・改修を支援(用具保管の倉庫設置、スマートロック設置に伴う扉の改修等)
 - 指導者養成のための講習会や暴力等の根絶に向けた啓発活動の実施等。
 - 大学生が卒業後も継続的に地域の中学生の指導に当たる仕組みを構築。
 - デジタル動画を活用した部活動・地域クラブ活動のサポート体制の構築(ポータル新設)

方向性



体制例

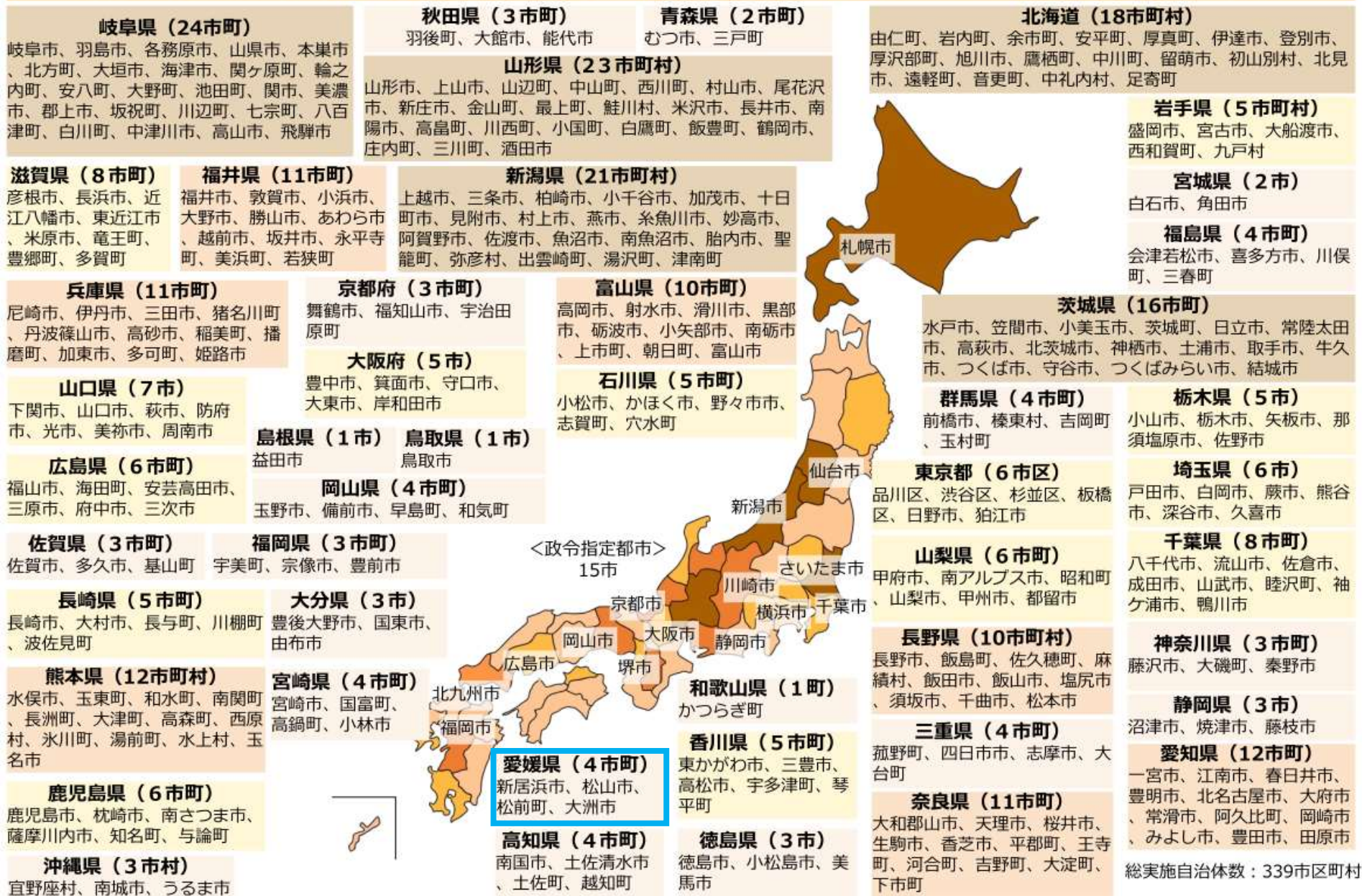


* 本資料における「スポーツ」には障害者スポーツを、「中学校」には特別支援学校中学校部等を含む。体制例は、あくまでも一例である。

(担当：スポーツ庁地域スポーツ課)

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 実施予定先

【運動部活動の地域移行に関する実証事業】 R5.6時点



休日の部活動の 地域移行における 市町村別運営形態の 類型別イメージ

類型例		運営形態	参考例
区分	運営例		
A 市区町村運営型	A-1 地域団体・ 人材活用型	市区町村教委が地域の団体（地域スポーツ団体や地元企業、大学等）や地域の指導者と連携し、運営する形で実施	埼玉県 さいたま市 神奈川県 秦野市 福岡県 宗像市
	A-2 任意団体設立型	市区町村が任意団体（一般社団法人や協議会等）を創設し、任意団体が運営する形として実施	長野県 飯島町
	A-3 競技団体連携型	市区町村が競技団体と連携して運営する形として実施	新潟県 長岡市 福井県 美浜町
B 地域スポーツ団体等運営型	B-1 総合型地域 スポーツクラブ 運営型	総合型地域スポーツクラブが運営する形として実施	山形県 鮭川村 福島県 会津若松市 新潟県 村上市 富山県 朝日町 京都府 舞鶴市 長崎県 長与町
	B-2 体育・スポーツ 協会運営型	体育・スポーツ協会が運営する形として実施	福島県 会津若松市 富山県 黒部市 静岡県 静岡市 静岡県 掛川市
	B-3 民間スポーツ 事業者運営型	民間スポーツ事業者が運営する形として実施	埼玉県 白岡市 沖縄県 うるま市
C その他	C-1 その他の類型	学校と関係する団体や地域学校協働本部、スポーツ・文化コミッション等が運営する形として実施	滋賀県 彦根市 石川県 宝達志水町

令和5年度、
新居浜市モデル事業は
この形態で
実施。

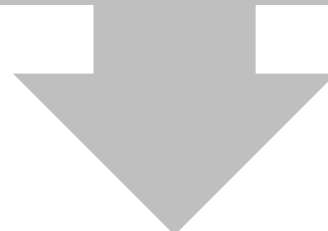
< 目次 >

- これまでの経緯、国の取組について
- **県と県中体連の取組について**
- 市の取組について
部活動の現状
検討委員会
国の委託事業によるモデルの実施
アンケート調査の結果について
- 他の自治体の取組について

市町連絡協議会

運動部 第3回実施
(R4.7.28～R4.10.12)

文化部 第1回実施
(R4.10.12)



部活動改革市町連絡協議会

これまでに3回実施

- 第1回 (R5.2.17) R5中体連県総体参加資格について 等
- 第2回 (R5.7.6) スポーツ安全保険、R6総体参加について
- 第3回 (R5.10.18) 新潟県・長崎県長与町の先進事例の紹介等

「愛媛県の学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針」抜粋

I 学校部活動

- ・学校の設置者は、部活動指導員や外部指導者を配置し、必ずしも教師が休日の指導等に従事しない体制を構築
- ・生徒の心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶
- ・週当たり2日以上¹の休養日を設定(平日1日、週末1日)、活動時間は、平日2時間程度、休業日3時間程度とし、合理的で効率的・効果的な活動を実施

II 新たな地域クラブ活動

- ・...将来的には「教員としての身分での休日の部活動指導時間を0とする」ことを目標に、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業の実施

III 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

- ・国が改革推進期間と位置付ける令和5年度から令和7年度までの3年間、地域連携・地域移行に重点的に取り組み、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す

「公立中学校の部活動改革に係る愛媛県推進計画」抜粋

1 目指す姿

公立中学校のスポーツ・文化芸術活動を学校単位から地域単位の取組とし、

- 生徒自身が望む豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現 等

2 取組の方向性

- ...、まずは休日の学校部活動から、地域や学校の実情等にも十分に配慮しつつ段階的に進めていく

3 県の主な取組

(2)各市町への支援

- 同じ課題を抱える市町や解決に向けた取組を実践している市町を結び、関係市町合同で「解決チーム」を編成し、アドバイザーを派遣する。

本県の取組方針 → 「できるところから できるものから」

5 スケジュール



愛媛県中体連・地域クラブ活動の参加について

令和5年度

2 令和5年度県総体・新人大会への参加について

(1) 団体戦
 県総体・新人に地域クラブ活動として出場を希望する場合は、**県下全域を対象とした地域クラブによる県総体・新人の予選（クラブ予選）**によって、**県総体・新人の出場権を獲得することとする。**クラブ予選からの**県総体・新人出場数は、各地区と同じ基準により与える。**

クラブ予選の運営は、**原則として、参加団体相互で行うこととする。**（各競技団体が、運営・費用負担を行う場合もある。その場合は、競技団体の運営に従うこと。）**県中体連及び各地区中体連は、審判員の派遣や会場の調整（学校施設の使用）等の協力を行う。**

※ **剣道については、日本中体連剣道競技部細則に地区大会からの参加が明記されているため、地区大会からの参加とする。**

★令和5年度総体の団体戦予選
 サッカー 4チーム参加 → 1チームが県大会へ【6月17日(土)、18日(日)予選実施】
 バドミントン女子 3チーム参加 → 2チームが県大会へ【6月10日(土)予選実施】
 ソフトボール女子 2チーム参加 → 1チームが県大会へ【6月18日(日)予選実施】

令和5年度は、団体戦は地域クラブ同士で予選を実施、個人戦は所属する中学校の地区予選に参加

↓

令和6年度から、地域クラブは、団体・個人ともにそれぞれの地区予選に参加

令和5年度総体において、個人戦において、市の地区予選に参加した地域クラブは、
 (陸上) 2チーム
 (水泳) 1チーム
 (バドミントン) 3チーム

令和6年度

2 令和6年度県総体・新人大会への参加について
 令和6年度県大会予選（地区大会）運営の基本的な考え方（案）

- 地域クラブ活動（地域スポーツ団体等）の所属地区を明確に定め、所属地区の地区大会からの参加とする。
- 地域クラブ活動（地域スポーツ団体等）は、一つの学校と同じように扱い、当該地区の規則に則って大会に参加する。

【課題】

- 地域クラブ活動（地域スポーツ団体等）の所属地区の定め方。
登録所在地？ 活動拠点？ 在籍生徒所属地区？
- 専門部がない地区の予選の運営をどうするか
- 他地区の大会に参加するための関係団体の協力
学校：大会参加のための欠席の扱い 行政：他地区生徒への予算使用 等

令和6年度は現在、県中体連で確認中。

R5愛媛県総体への地域クラブ活動の登録状況

運動部活動の現状について - R5愛媛県総体への地域クラブ活動の登録状況 -

< R5愛媛県総体への地域クラブ活動の登録状況 >

1 令和5年度地域クラブ活動（地域スポーツ団体等）中体連登録状況

（3）令和5年度地域クラブ活動（地域スポーツ団体等）中体連登録状況

No	競技名	地域クラブ活動登録数		男女計	備考	登録選手数		
		男子	女子			男子	女子	男女計
1	陸上競技	8	7	15	男女共通の団体があるため実数は8	16	15	31
2	水泳競技	15	15	30	男女共通の団体があるため実数は15	57	43	100
3	バスケットボール	0	0	0		0	0	0
4	サッカー	4	0	4		73	5	78
5	ハンドボール	0	1	1		0	10	10
6	軟式野球	0	0	0		0	0	0
7	体操競技	1	1	2	男女共通の団体があるため実数は1	1	0	1
8	新体操	0	0	0		0	0	0
9	バレーボール	1	1	2		9	10	19
10	ソフトテニス	1	0	1		8	0	8
11	卓球	0	0	0		0	0	0
12	バドミントン	4	6	10	男女共通の団体があるため実数は7	8	21	29
13	ソフトボール	1	2	3		10	30	40
14	柔道	2	1	3	男女共通の団体があるため実数は2	12	1	13
15	剣道	1	0	1		1	0	1
16	相撲	0	0	0		0	0	0
17	ラグビーフットボール	1	0	1		19	2	21
18	テニス	8	8	16	男女共通の団体があるため実数は8	37	28	65
合計		47	42	89	男女共通団体があるので実数は54	251	165	416

令和5年度県生徒数 32,779人
 運動部活動入部率を64.5%（R3）とすると、運動部活動生徒数は約21,142人で、約2%が地域クラブで参加。

（出典）R5.6.20 県説明会における県中体連の資料の抜粋

< 目次 >

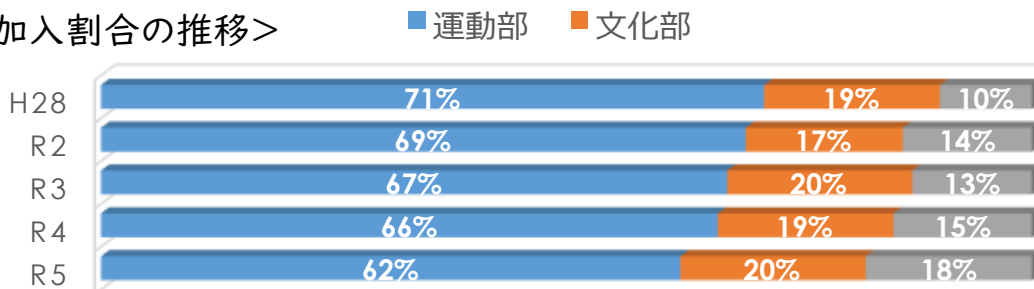
- これまでの経緯、国の取組について
- 県と県中体連の取組について
- **市の取組について**
部活動の現状
検討委員会
アンケート調査の結果について
実証事業の活動状況
- 他の自治体の取組について

部活動の現状について 一部活動の加入者と推移

令和5年度学校別部活動加入割合（令和5年5月1日現在）

学校名	生徒数			運動部員数			文化部員数			男女別割合									
										男			女			男女計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	運動部	文化部	その他	運動部	文化部	その他	運動部	文化部	その他	
東中	171	176	347	102	64	166			76	59.65%				36.36%			47.84%	21.90%	30.26%
西中	88	86	174	59	42	101			37	67.05%				48.84%			58.05%	21.26%	20.69%
南中	265	239	504	185	128	313			131	69.81%				53.56%			62.10%	25.99%	11.90%
北中	90	103	193	43	42	85			57	47.78%				40.78%			44.04%	29.53%	26.42%
泉川中	144	138	282	130	77	207			40	90.28%				55.80%			73.40%	14.18%	12.41%
船木中	83	99	182	58	51	109			31	69.88%				51.52%			59.89%	17.03%	23.08%
ひびき分校	7	4	11	7	4	11			0	100%				100%			100%	0.00%	0.00%
中萩中	218	236	454	152	120	272			105	69.72%				50.85%			59.91%	23.13%	16.96%
大生院中	64	72	136	48	49	97			22	75.00%				68.06%			71.32%	16.18%	12.50%
角野中	158	148	306	114	107	221			40	72.15%				72.30%			72.22%	13.07%	14.71%
川東中	262	240	502	198	140	336			71	75.57%				58.33%			66.93%	14.14%	18.92%
別子中	9	10	19	9	10	19			0	100%				100%			100%	0.00%	0.00%
計	1,559	1,551	3,110	1,105	834	1,937			610	70.88%				53.77%			62.28%	19.61%	18.10%

<加入割合の推移>



運動部加入率は年々減少
 文化部加入率はほぼ横ばいで微増
 未加入率は年々増加

部活動の現状について —運動部活動の部員数—

令和5年度新居浜市運動部活動一覧（令和5年5月1日現在）

種目名		中学校名	東	西	南	北	川東	泉川	船木	ひびき分校	中萩	大生院	角野	別子	計	学校数合計	単独チーム編成不可学校数	外指導者学校数
陸上競技	男			8			13	14			18	1	19		73	6校		
	女		<u>1</u>				15	9			13		2		40	5校		1校
水泳	男		5	<u>1</u>	6	3	3	1	3		3		3		28	9校		1校
	女		1	<u>1</u>	2		3	1	2		5				15	7校		1校
バスケットボール	男		18	15				17			<u>22</u>				72	4校		1校
	女		9	12	15	12	21	14	12		15		17		127	9校		
バレーボール	男		10		15		37				23				85	4校		
	女		16	17	14	<u>11</u>	24	12	16		17	23	26		176	10校		1校
バドミントン	男		25				25		15		12	2	<u>7</u>		86	6校		1校
	女		21			<u>6</u>	14		19		4	14	<u>11</u>		89	7校		2校
卓球	男		15		40	2	23	36	14		25	4	21	9	189	10校		
	女				44		30	8			29		25	10	146	6校		
ソフトテニス	男		<u>9</u>	<u>18</u>	44	<u>18</u>	33	34			10		32		198	8校		3校
	女		6	<u>12</u>	27	<u>13</u>	9	33		4	36	12	25		177	10校		2校
ハンドボール	男		<u>4</u>				<u>12</u>				2		2		20	4校	3校	2校
サッカー	男		<u>9</u>	17	43	12	33	15	<u>9</u>		<u>16</u>	18	<u>6</u>		178	10校	3校	1校
	女								1						3	2校		
ソフトボール	男																	
	女		9		19		15								43	3校		
軟式野球	男		<u>5</u>		28	<u>2</u>	13	<u>8</u>	<u>10</u>	<u>7</u>	17	22	22		134	10校	4校	
	女						1								1	1校		
剣道	男		2		9	2	4	3	<u>7</u>		4		2		33	8校		1校
	女		1		5		1		<u>1</u>		1				9	5校		1校
柔道	男					<u>4</u>	<u>2</u>	2							8	3校		2校
	女																	
テニス	男											1			1	1校		
	女				1								1		2	2校		
体操、新体操	女				1		<u>3</u>								4	2校		1校
部員計	男		102	59	185	43	198	130	58	7	152	48	114	9	1,105	部員数 1,937人 (男 1,105人 女 832人) ※その他、川東中女子バスケット部に2名のマネージャー有		
	女		64	42	128	42	138	77	51	4	120	49	107	10	832			
	計		166	101	313	85	336	207	109	11	272	97	221	19	1,937			

部活動の現状について －文化部活動の部員数－

令和5年度新居浜市文化部活動一覧(令和5年5月1日現在)

文化部名		校名													計
		東	西	南	北	川東	泉川	船木	ひびき	中萩	大生院	角野	別子		
1	吹奏楽部			43	18	28				33	22			144	
2	合唱部		11											11	
4	音楽部	23					17	9						49	
5	美術部	32	26	48	17	21	17			46		20		227	
7	文芸部											3		3	
10	環境技術部・技術家庭科			24								17		41	
11	園芸部			16										16	
14	茶道部	5			22		6	8		13				54	
15	華道部							14		4				18	
21	家庭(科)部	16				22				9				47	
文化部合計		76	37	131	57	71	40	31		105	22	40		610	

土日のうち、一日は活動している部

検討委員会の設置について

<これまでの取組>

○新居浜市の今後の部活動を語る会

- 第1回 令和3年6月28日 ・文科省「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」について
- 第2回 令和3年11月22日 ・新居浜市の部活動の現状把握と今後の部活動の在り方について
- 第3回 令和4年6月30日 ・拠点校方式のメリットとデメリットについて
- 第4回 令和4年11月25日 ・拠点校方式の問題点と修正点について

○関係団体への説明（令和4年7月～令和5年1月）

市スポーツ協会、市文化協会、地域スポーツ団体、市PTA、市小・中学校校長会、経済同友会、市商工会等

◆新居浜市部活動のあり方及び地域移行に関する検討委員会（令和5年7月設置）

- ・委員 PTA、文化体育7事業団、スポーツ協会、文化協会、部活動指導員、吹奏楽団
小・中学校校長会、市、教育委員会の各代表者

◇第1回（令和5年7月開催）

令和4年12月に示された国の「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」や県の連絡協議会、及び市内の部活動の参加状況などについて、情報を共有した。

◇第2回（令和5年11月開催）

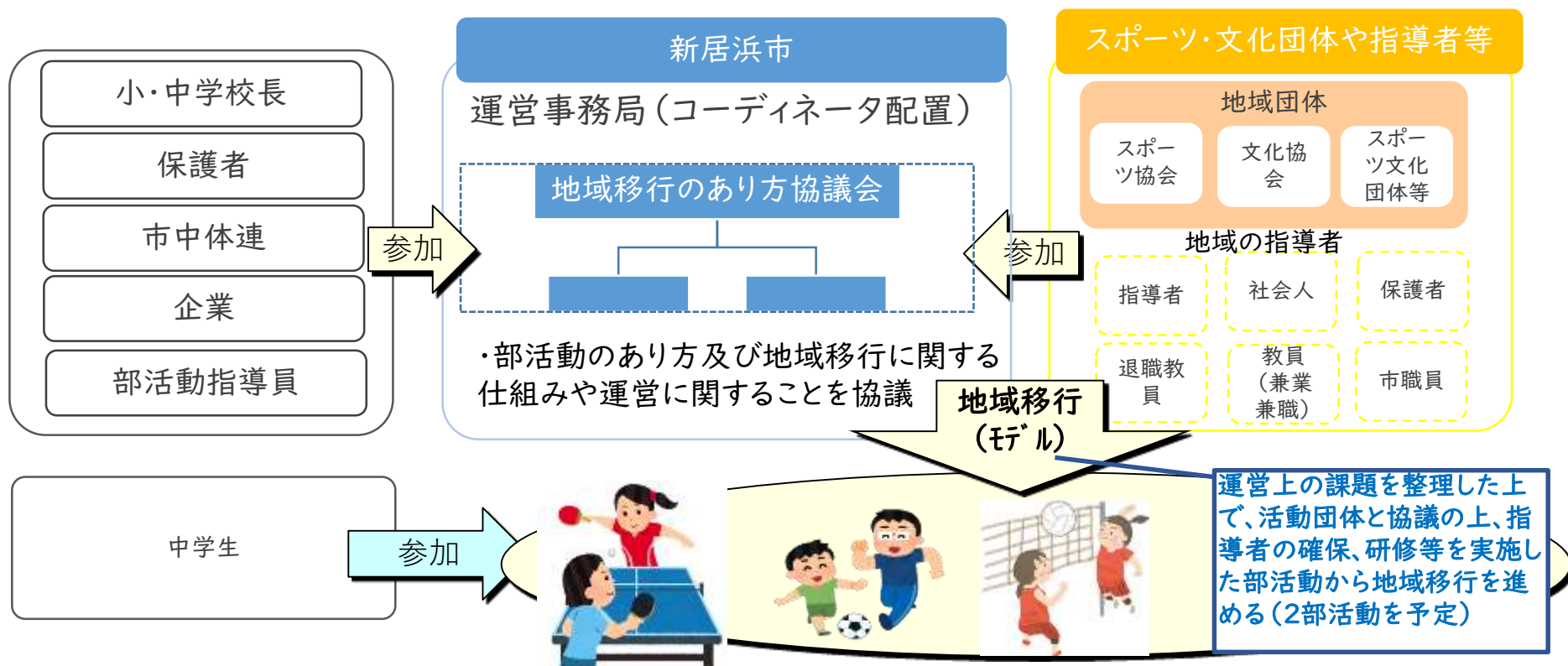
令和5年9月に愛媛県において策定された「公立中学校の部活動改革に係る愛媛県推進計画」、「愛媛県の学校部活動及び地域クラブ活動の在り方等に関する方針」及び国の最新の先進事例などについて情報を共有するとともに、児童生徒等へのアンケート調査の実施についてご意見をいただいた。

◇第3回（令和6年2月開催）

愛媛大学教育学部田中雅人教授に「これからのジュニアスポーツの在り方」について、日本における部活動の位置づけや各国の状況、及び国内の実践事例についてご説明いただいた。また、アンケート結果についても情報を共有し、委員からは部活動の意義などについてご意見をいただいた。

<新居浜市の国の委託事業取組の概要>

市のスポーツ協会、文化協会、さらに市中体連、保護者、校長や教職員等をメンバーとして、部活動地域移行に関して検討する場を設置し、部活動のあり方及び地域移行に関する仕組みや運営に関することについて検討を行う。具体的には、少子化を見据えて合同部活動や拠点校方式の活用に関することや、地域移行の際の活動単位(学校、地域)や、指導者の確保策、指導を希望する教員の兼業兼職及び費用負担などの考え方などについて検討を行う。また、生徒、教職員、保護者等を対象にアンケートを実施する予定。関係団体と連携・協議の上、地域移行が可能な活動から、段階的に取り組む。



※令和5年度モデル事業の対象は運動部活動のみ

新居浜市教育委員会では、生徒とその保護者、児童（高学年）及び教員に対して、部活動地域移行に関するアンケート調査を実施。

○調査対象（回答件数）

- ・市立中学校の生徒（2,709件）
- ・市立小学校の5,6年生の児童（1,599件）
- ・市立中学校の保護者（815件）
- ・市立中学校教員（209件）

○調査期間

令和5年12月

○回答方法

Google フォームによるオンライン回答

○その他

アンケート結果は市ホームページで公表

アンケート結果について

【生徒アンケート結果抜粋】

問1 全ての方に伺います。現在、部活動や地域クラブ活動（スポーツクラブや文化芸術団体）に所属していますか。3年生は在学中に部活動に所属していた場合は所属しているを選んでください。地域クラブ活動には硬式野球、バレー、空手、ゴルフ等様々な団体を含みます（例：水泳部に所属している方は両方に所属していることとなります）。

2,709件の回答

- ・部活動に所属している 71.4%
- ・地域クラブ活動に所属している 9.2%
- ・部活動と地域クラブ活動の両方に所属している 9.5%
- ・どちらにも所属していない 9.9%

問2 全ての方に伺います。部活動や地域クラブ活動にどのようなことを期待していますか。次の中から選んでください。3つまで選ぶことができます。

2,709件の回答

- ・将来、プロになるための活動となること 10.3%
- ・専門的な指導を受けて大会やコンクールで良い成績を収めること 24.1%
- ・部活動・地域クラブ活動で強豪高校に進学しやすくなること 8.8%
- ・体力や技術を向上させること 59.1%
- ・将来も続けられる趣味や特技にすること 27%
- ・活動を通じて精神的に強くなること 21.4%
- ・好きな（興味がある）活動を続けられること 42.9%
- ・友達や知っている先輩と一緒にできること 31.9%
- ・厳しくなく、楽しく活動できること 21.2%
- ・部活動や地域クラブ活動以外に取り組めるものがないから 1.2%
- ・家に帰っても暇だから・暇つぶしになること 4.7%
- ・特にない 7.3%

問3 全ての方に伺います。自分のやりたい部活動が学校にない場合、他の中学校にあれば、その学校の部活動に参加したいと思いますか。

2,709件の回答

- ・参加したい 18.2%
- ・距離が近いなど条件があれば参加したい 44.1%
- ・参加したくない 36.7%

問4 全ての方に伺います。学校の部活動や地域クラブ活動に関係なく、地域で休日にスポーツや文化活動に参加できる地域の部活動（月1回や週1回程度）があれば参加してみたいですか。

2,709件の回答

- ・参加してみたい 14.6%
- ・興味があれば参加してみたい 50.8%
- ・参加したくない 34.2%

アンケート結果について

【生徒アンケート結果抜粋】

問8 部活動に所属しない人（3年生は在学中に所属したことない人）に伺います。どのような活動なら部活動に参加したいと思いますか。主な理由を1つ選んでください。

355件の回答

- ・友達と楽しめる 36.3%
- ・同じレベルの人だけで活動できる 7.0%
- ・勝ち負けにこだわらない 4.2%
- ・競争性がない 1.7%
- ・活動時間がちょうどよい 10.4%
- ・指導が丁寧・やさしい 11.8%
- ・地域クラブ活動に参加するため参加しない（参加できない） 14.6%
- ・どのような条件でも部活動には入りたくない 13.8%
- ・その他 0.0%

問7 部活動に所属しない人（3年生は在学中に所属したことない人）に伺います。所属しない理由は何ですか。主な理由を1つ選んでください。

332件の回答

- ・勉強（塾や習い事等）したいから 13.3%
- ・学校以外のスポーツクラブや文化クラブに所属しているから 29.8%
- ・やりたい活動がないから 13.6%
- ・部活動に時間が拘束されるから 3.3%
- ・運動もしくは文化活動が苦手だから 2.1%
- ・他にやりたいことがあるから 12.3%
- ・人間関係（上下関係、友人や顧問との関係）が面倒そうだから 6.6%
- ・早く家に帰りたい（帰る必要がある）から 12.0%

問5 問4で「参加してみたい」、「興味があれば参加してみたい」と回答した人に伺います。どのような活動であれば参加したいですか。次の中から選んでください。3つまで選ぶことができます。（「参加したくない」、「その他」を選んだ方は問6へ進んでください）

1,787件の回答

- ・ヨガ・ストレッチ等の軽い運動 15.7%
- ・運動不足の解消になる軽運動 43.5%
- ・ボクシングなどの格闘技 13.6%
- ・柔道・剣道・弓道・合気道などの武道 13.3%
- ・スポーツジムでの体力・筋力づくり 35.4%
- ・ポッチャ等のユニバーサルスポーツ 14.4%
- ・楽器を使用したり、発声や合唱を行ったりするなど初歩的な音楽活動 13.4%
- ・バンドの楽器やボーカルなどの音楽活動 15.7%
- ・裁縫やクラフトを活用した手作りの活動 14.3%
- ・プログラミングなどのパソコン活動 19.1%

問9 地域のスポーツ・文化クラブ等に通っている方に伺います。地域のスポーツ・文化クラブ等へ通っている理由は何ですか。主な理由を1つ選んでください。

632件の回答

- ・幼少期から続けているから 30.5%
- ・地域クラブで体力や技術を向上させたいから 29%
- ・プロになりたいから 16.5%
- ・友達や仲間と一緒にだから 14.1%
- ・入りたい部活動がなかったから 4.6%

アンケート結果について

【児童（5,6学年）アンケート結果抜粋】

問1 新居浜市では、現在、以下のような部活動が行われています。あなたは参加したいと思う活動を選んでください。あなたが進学する予定の中学校にない部活動を選ぶこともできます。

1,599件の回答

- ・運動部に参加したい 56%
- ・文化部に参加したい 14.8%
- ・運動部と文化部の両方に参加したい 5.1%
- ・参加したくない 7%
- ・わからない 17.1%

問3 自分がやってみたい部活動であれば、自分が通う中学校以外の場所でも活動したいと思えますか。

1,599件の回答

- ・そう思う 27.3%
- ・どちらかというと思う 25.9%
- ・どちらかというと思わない 17.1%
- ・そう思わない 17.8%
- ・わからない 11.9%

問4 あなたは部活動にどのようなことを期待しますか。次の中から選んでください。
2つまで選ぶことができます。

1,599件

- ・好きな、興味のある活動を楽しむこと 56.3%
- ・仲間や友達をつくること 40.8%
- ・体力の向上や技術を身につけること 28.8%
- ・勝つことやコンクールで上位に行く喜びを味わうこと 11%
- ・将来、プロになるための活動となること 11.9%
- ・進学（強豪高校への進学を含む）に役立つこと 5.6%
- ・あいさつや礼儀などを身に付けたい 6.1%
- ・より高い目標に向けて努力して、精神的に強くなりたい 15.6%
- ・特にない・わからない 6.6%

アンケート結果について

【保護者アンケート結果抜粋】

問3 お子さんが部活動に所属している方に伺います。お子さんは部活動に楽しんで取り組んでいると思いますか。

659件の回答

- ・ そう思う 57.1%
- ・ どちらかというと思う 29.7%
- ・ あまりそう思わない 9.4%
- ・ 思わない 3.0%
- ・ わからない 0.8%

問4 お子さんが部活に所属している方に伺います。部活動に期待することはなんですか。次の中から選んでください。3つまで選ぶことができます。（部活動と地域クラブ活動に参加されていない方は問7へ、地域クラブ活動のみ参加されている方は問6へ）

654件の回答

- ・ 大会やコンクール等で良い成績を収めること 12.5%
- ・ 厳しい練習などを通して、体力的、精神的にたくましくなること 28.4%
- ・ 体力や技能の向上 36.9%
- ・ 自分に自信をつけること 46%
- ・ スポーツマンシップや団体行動が身につけること 27.5%
- ・ チームワーク、協調性を身につけること 59.6%
- ・ 顧問や指導者、仲間とお互いを理解し合うこと 22.2%
- ・ クラスや学年を超えた友人ができること 27.5%
- ・ 進学に役立つこと 4.1%
- ・ 将来プロを目指すこと 0.3%
- ・ 生活の幅を広げること 9.2%

問5 お子さんが部活動に所属している方に伺います。部活動の課題や問題点について、次の中から該当するものを選んでください。3つまで選ぶことができます。

649件の回答

- ・ 技術的指導のできる教員が不足している 38.5%
- ・ 施設や設備、用具等が十分ではない 16.9%
- ・ 顧問教員以外に指導できる人が不足している 27.9%
- ・ 顧問教員の指導が行き過ぎている 4.2%
- ・ 顧問教員が指導や経験のない部活をもたなければいけない 29%
- ・ 顧問教員の負担が大きすぎる 32.5%
- ・ (家庭の)費用負担が大きい 7.2%
- ・ 保護者の期待が大きすぎる 2.3%
- ・ 学業との両立が心配である 13.6%
- ・ 入部率が低下している 15.6%
- ・ 特になし 13.9%

問7 文部科学省（スポーツ庁・文化庁）では、学校の働き方改革や、少子化の中でも、将来に渡り子どもたちが多様なスポーツや文化活動を継続する機会を確保するため、令和5年度から令和7年度末を目途に、休日の部活動から段階的に地域移行していくことを基本として取り組みを進めています。このことについてどのように思いますか

774件の回答

- ・ 賛成 30.1%
- ・ どちらかという賛成 49.5%
- ・ どちらかという反対 16.7%
- ・ 反対 3.7%

アンケート結果について

【保護者アンケート結果抜粋】

問9 部活動を地域が担うことで期待されることを1つ選んでお答えください。

797件の回答

- ・専門的な指導が受けられる 25.6%
- ・子どもが希望する活動の選択肢が増える 18.8%
- ・教員の負担軽減につながる 31.5%
- ・他校の生徒や幅広い年代との交流が期待できる 9.5%
- ・わからない・特にない 14.1%

問10 部活動を地域移行する場合、どのようなことが問題（心配）になるとお考えですか。次の中から選んでください。2つまで選ぶことができます。

788件の回答

- ・地域指導者の確保 43.4%
- ・活動場所の確保 15.9%
- ・運営体制の整備 15.4%
- ・活動場所までの送迎 18%
- ・家庭の費用負担が増える 20.4%
- ・送迎の負担が増える 19.4%
- ・指導者の資質や指導力 21.6%
- ・学校と運営主体との連携 26.8%

問11 休日の部活動（週1回程度）を地域へ移行した場合、保護者はどの程度の金額（月謝）を負担することが妥当だと思いますか。※月謝には、お子さんの保険料や指導者への謝金、会場の貸与費などが含まれます。

786件の回答

- ・0円 8.5%
- ・1,000円未満 23%
- ・1,000円以上2,000円未満 28.5%
- ・2,000円以上3,000円未満 19.6%
- ・3,000円以上4,000円未満 6.9%
- ・4,000円以上5,000円未満 7.6%
- ・5,000円以上10,000円未満 4.3%
- ・10,000円以上 1.5%

アンケート結果について

【教員アンケート結果抜粋】

問3 全ての方に伺います。現在、運動部もしくは文化部の部活動を担当していますか。

209件の回答

- ・運動部を担当している 68.9%
- ・文化部を担当している 12.9%
- ・運動部・文化部の両方 2.9%
- ・担当していない 15.3%

問4 全ての方に伺います。部活動にやりがいを感じていますか。今年度担当されていない方もお答えください。

209件の回答

- ・やりがいを感じている 21.1%
- ・どちらかというやりがいを感じている 35.9%
- ・どちらかというやりがいを感じていない 22.5%
- ・やりがいを感じていない 16.7%
- ・担当したことがない 3.8%

問5 全ての方に伺います。部活動が校務などの職務を行う上で負担になっていますか。今年度担当されていない方もこれまでの経験でお答えください。

208件の回答

- ・負担になっている 44.2%
- ・まあまあ負担になっている 32.7%
- ・あまり負担になっていない 11.1%
- ・負担になっていない（負担を感じていない） 8.7%
- ・担当したことがない 3.3%

問6 全ての方に伺います。部活動が負担になっている理由について教えてください。今年度担当されていない方もこれまでの経験でお答えください。3つまで選ぶことができます。

209件の回答

- ・部活動に時間を取られて校務・教務との両立が難しい 61.2%
- ・経験のない部活動を担当すること 38.8%
- ・休日や勤務時間外に活動すること 68.4%
- ・保護者との連携・人間関係 14.4%
- ・生徒との連携・人間関係 4.8%
- ・生徒間の連携・人間関係 6.2%
- ・部活動指導員や外部指導者との連携や人間関係 7.7%
- ・大会の運営や引率 25.4%
- ・保護者や地域の期待 2.9%
- ・部員数が多い（少ない）ため活動に制限がある 8.1%
- ・活動場所の確保 4.3%
- ・予算の確保 6.7%
- ・特になし・担当したことがない 8.1%

アンケート結果について

【教員アンケート結果抜粋】

問7 現在、部活動を担当している方及び昨年度担当していた方に伺います。休日にあなたが練習や試合、遠征などで年間どのくらいの日数を費やしていますか。昨年度の日数もしくは今年度の予定される日数のいずれかをお答えください。（担当されていない方は問8へ）

181件の回答

- ・ 5日未満 20.4%
- ・ 5日以上10日未満 9.4%
- ・ 10日以上20日未満 11%
- ・ 20日以上30日未満 10.5%
- ・ 30日以上50日未満 23.8%
- ・ 50日以上 24.9%

問8 全ての方に伺います。休日の部活動の地域移行についてどのように思いますか。

209件の回答

- ・ 賛成 34.4%
- ・ どちらかという賛成 21.1%
- ・ どちらかという反対 6.7%
- ・ 反対 2.4%
- ・ 休日のみならず平日も移行すべき 26.3%
- ・ 地域移行ではなく部活動のまま外部指導員などを活用すべき 5.3%

問10 全ての方に伺います。部活動を地域移行する場合、どのようなことが問題（心配）になると思いますか。次の中から選んでください。3つまで選ぶことができます。209件の回答

- ・ 指導者の確保 65.6%
- ・ 活動場所の確保 19.6%
- ・ 運営体制の整備 34.4%
- ・ 活動場所までの送迎 5.3%
- ・ 家庭の費用や送迎の負担 18.7%
- ・ 指導者の資質、指導力 22.5%
- ・ 顧問と指導者との連携 40.7%
- ・ 学校と運営主体との連携 30.6%
- ・ 中体連の存続意義（全日中の廃止などスポーツの構造改革が必須課題） 12%
- ・ クラブ同士の選手の奪い合い 10%
- ・ 教職員のクラブ指導者兼業問題 11%

問11 全ての方に伺います。休日の部活動を地域に移行した場合、休日は兼職兼業により部活動の指導に参加したいと思いますか。

209件の回答

- ・ 参加したいと思う 7.2%
- ・ どちらかといえば参加したいと思う 12%
- ・ 参加したいと思わないが必要があるら検討する 15.8%
- ・ どちらかといえば参加したいと思わない 7.7%
- ・ 参加したいと思わない 47.8%
- ・ わからない 7.2%

実証事業について

【新居浜クラブユース（男子バレーボール）】



(10月21日（土）の練習の様子)



(10月28日（土）練習試合の様子)

新居浜工業高校での練習試合。
結果は、

对新居浜工業0-2、

对新居浜西1-1、

对西条BA3年1-1。

※西条BA3は西条市の
中学生の地域クラブ活動

【上部地区4中学校合同サッカー部】



(2月24日（土）の練習の様子)



1. 新居浜クラブユース（男子バレーボール）

ジュニアボレーボールクラブを母体に令和4年7月25日に発足。南中の男子バレーボール部員を中心に休日に金栄小学校で活動。10月21日（土）の練習には、3年生を含めて18名の生徒が参加（南中12名、中萩中5名、東中1名。欠席3名を除く（南中1名、中萩中1名、西中1名））。

3年生は、高校でもバレーボールを続けたい子が参加している。

2. 上部（合同男子サッカー）

上部の中萩、大生院、船木及び角野中学校の男子合同サッカー部の土日の活動を、地域クラブ活動として2月の1か月間実施。地域指導者のほか、高校のサッカー部との合同練習（高校生の中でインフルエンザが流行し実施できず）を企画するなど、今後、広がりが期待できる。

成果

- ・総体終了後の3年生が参加するなど、部活動終了後も運動する機会を提供できている。
- ・市バレーボール協会の協力により、高校生や他の地域クラブ等の練習試合を組むことができている。
- ・ジュニアバレーからの参加者が多く、保護者のボランティア活動が活発で指導しやすい環境にある。
- ・（サッカー）地域指導者（高校の指導者を含む）により、専門的な指導を受けられる。
- ・（サッカー）今後の中学校の部活動の在り方を検討するうえで、1つ参考になる事例となった。

課題

- ・参加者が増えると指導者1名で見ることが難しくなるため、今後、受益者負担などを考える必要がある。

< 目次 >

- ・ これまでの経緯、国の取組について
- ・ 県と県中体連の取組について
- ・ 市の取組について
部活動の現状
検討委員会
アンケート調査の結果について
実証事業の活動状況
- ・ **他の自治体の取組について**

他の自治体の取組 I (長崎県長与町)

①



②



③



④

参考:長崎県長与町における地域スポーツ活動の収支構造※



令和5年度から休日の活動を地域に移行

他の自治体の取組2 (山口県周南市)

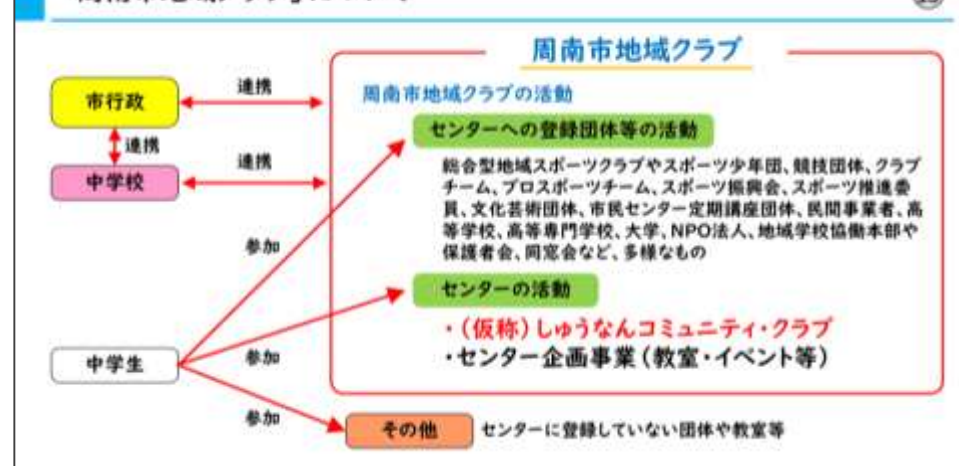
①

周南市について



②

「周南市地域クラブ」について



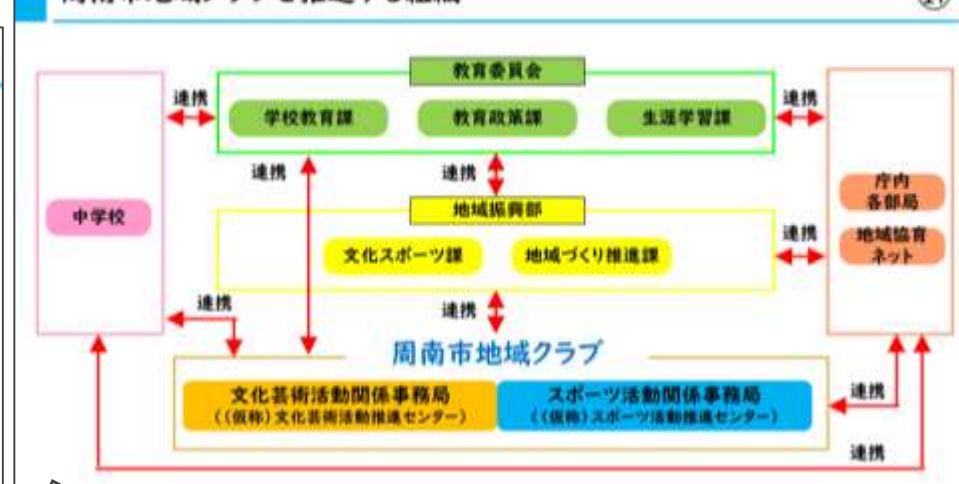
④

周南市地域クラブの開始時期について

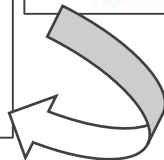


③

周南市地域クラブを推進する組織



令和8年度の総体終了後、部活動がなくなり、すべて地域クラブ活動への意向を目指す。具体的な詳細は、今後調整



他の自治体の取組3 (静岡県掛川市)

①

人口：110,210人 (令和6年2月末現在)
 面積：265.69km
 小学校 22校 児童数6,377人 (令和5年5月1日現在)
 中学校 9校 生徒数3,219人 (//)

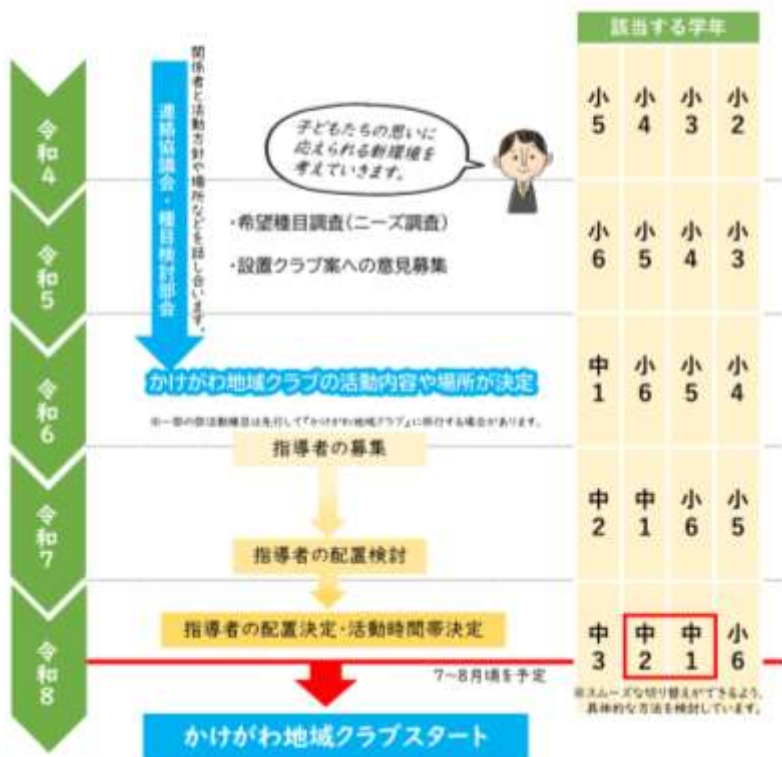
②

改革までのスケジュール

Schedule

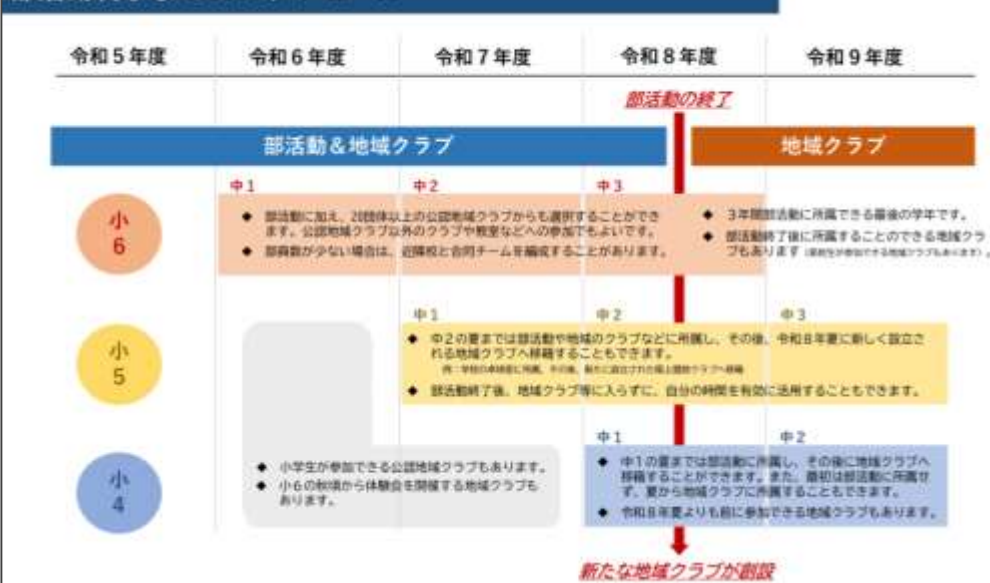
4年間をかけて新たな活動環境を整備します

国のスケジュール 令和5～7年度で休日の部活動の地域移行を推進
 掛川市のスケジュール 令和8年度に平日と休日の部活動を一体的に改革



③

部活動終了までのスケジュール



④

かけがわ地域クラブ実施体制(案)

令和5年10月30日版

掛川市では、令和8年度に部活動を終了します。

そして、新たな地域クラブ「かけがわ地域クラブ」をスタートさせます。



令和8年度の総体後の7, 8月に地域クラブへの移行。
 地域クラブ指導者と公認地域クラブを募集中

(出典) 掛川市HPより

他の自治体の取組3 (静岡県掛川市)

軟式野球

1 かけがわ地域クラブ一覧

運営団体	クラブ名	拠点会場	対象学年	参加範囲	活動日数	時間帯	会費	活動状況
掛川市スポーツ協会	掛川軟式野球クラブ 第1チーム	原野谷、桜が丘 <small>のいずれかのグラウンド、他</small>	中1～中3 男女	原野谷、桜が丘	年300時間程度 週2～4日程度	平日 夜間 休日 日中	月7～8,000円	R8 創設予定
	掛川軟式野球クラブ 第2チーム	西 <small>グラウンド、他</small>	中1～中3 男女	西	年300時間程度 週2～4日程度	平日 夜間 休日 日中	月7～8,000円	R8 創設予定
	掛川軟式野球クラブ 第3チーム	北 <small>グラウンド、他</small>	中1～中3 男女	北	年300時間程度 週2～4日程度	平日 夜間 休日 日中	月7～8,000円	R8 創設予定
	掛川軟式野球クラブ 第4チーム	東、栄川 <small>のいずれかのグラウンド、他</small>	中1～中3 男女	東、栄川	年300時間程度 週2～4日程度	平日 夜間 休日 日中	月7～8,000円	R8 創設予定
	掛川軟式野球クラブ 第5チーム	城東、大浜、大須賀 <small>のいずれかのグラウンド、他</small>	中1～中3 男女	城東、大浜、大須賀	年300時間程度 週2～4日程度	平日 夜間 休日 日中	月7～8,000円	R8 創設予定

※チーム数は、事前の入部希望調査の結果によって、変更する場合があります。
※高校で硬式野球に取り組むためのプレ活動を実施している地域のクラブもあります。

バドミントン

1 かけがわ地域クラブ一覧

運営団体	クラブ名	拠点会場	対象学年	参加範囲	活動日数	時間帯	会費	活動状況
掛川市スポーツ協会	掛川バドミントンクラブ (White Wing)	さんりーな	中1～中3	市内外全域	年200時間程度 週1～3日	火、金 19時頃～	月7,000円	活動中
	掛川バドミントンクラブ (名称未定)	し～すば				検討中	月6～7,000円	R6 創設予定
市民団体	Hero'sバドミントンクラブ	西山口小、東中、 あすなろ、他	小5～中3	市内外全域	小：週1～3日 中：週1～3日 雨湿抑制	月、金土 19時頃～ 小：10時～ 中：19時頃～	小：週1 3,300円 小中：週2～ 月5,500円	活動中
市民団体 スポーツ少年団	掛川 羽の風	桜が丘中 掛川西高、他	小5～中3	市内外全域	週2～3日	月 19～21時 水 19～21時 土 AM・PM	小 月3,000円 中 月3,500円	活動中

第3回種別検討部会資料

吹奏楽

1 かけがわ地域クラブ一覧

※吹奏楽団の数は、事前の入部希望調査の結果によって、変更する場合があります。

運営団体	クラブ名	拠点会場	対象学年	参加範囲	活動日数	時間帯	会費	活動状況
掛川市 文化財団	掛川吹奏楽団_西	西中 <small>吹奏楽、他</small>	中1～中3 男女	原野谷、桜が丘、西	年300時間程度 週2～4日	平日 未定 休日 日中	月6～8,000円	R8 創設予定
	掛川吹奏楽団_東	東中 <small>吹奏楽、他</small>	中1～中3 男女	北、東、栄川	年300時間程度 週2～4日	平日 未定 休日 日中	月6～8,000円	R8 創設予定
	掛川吹奏楽団_南	城東中 <small>吹奏楽、他</small>	中1～中3 男女	城東、大浜、大須賀	年300時間程度 週2～4日	平日 未定 休日 日中	月6～8,000円	R8 創設予定
市民団体	掛川文化クラブ	掛川市生涯学習センター 吹奏楽部	小4～中3 男女	市内全域	週1～2日	水 19時～ 土 13時～	月3,000円	活動中

運営団体、会場、
対象、活動日数、
時間帯、会費等
を明記 (予定)

(出典) 掛川市HPより

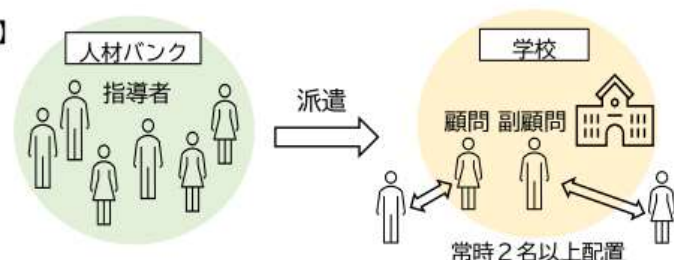
他の自治体の取組4(熊本県熊本市) ※地域連携

①

(1) 今後の学校部活動の活動形態

- ① 指導者は常時2名以上配置(顧問、副顧問)。複数人でローテーション
- ② 指導費単価は顧問：1,600円/h、副顧問1,000円/h(段階的に単価見直し)
※公認スポーツ指導者資格等の取得者についての単価は加算等を検討
- ③ 指導回数は週1~5日(平日1~4日、休日1日)

【イメージ図】



(2) 保護者の費用負担(受益者負担)

① 新たに発生する費用は、受益者負担を50%程度※1とする。

⇒ 約3,220円/月

<内訳>

- ・指導費：約2,670円/月(週当たりの練習回数に応じ変動。状況に応じ見直し)
- ・人材バンクの運営に係る費用：約550円/月(状況に応じ見直し)

② 実費(現行部費)※2は、現行どおり受益者負担とし、部ごとに設定する。

⇒ 1,678円/月(令和5年度平均額※3)

③ 経済的に困窮する家庭へは、支援制度を構築し費用を援助する。

④ 企業からの協賛金等の募集を行い、運営費の一部を賄う。

※1 放課後児童育成クラブの受益者負担を参考に算出

※2 用具費(メンテナンス代を含む)、登録費、大会参加費、消耗品費など

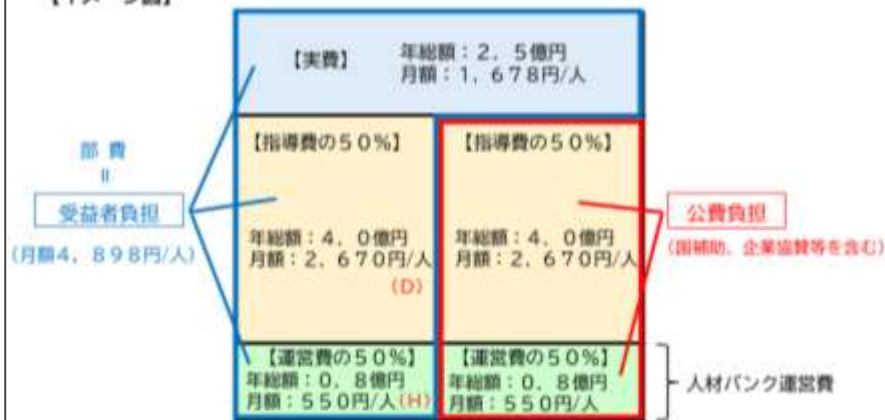
※3 全部活動の部費総額を部員数で除した額(前回示した額は部ごとの単純平均額)

地域移行ではなく、新しい学校部活動の在り方を検討

(出典) 熊本市HPより

②

【イメージ図】



【参考データ①：指導費(概算)】

- ・部活動数は420部で試算(R5年度の571部から約30%減を想定)
- ・活動日数は週5回、活動時間は年間735時間(現行の部活動指導員活動時間と同等)で試算
- ・顧問・副顧問の常時2人体制とする

部活動数	活動時間	指導者単価	指導費総額(A)	部員総数(B)	受益者負担50%	
					年額(C=A/B÷2)	月額(D=C÷12)
420部	735時間	顧問1,600円 副顧問1,000円	802,620千円	12,552人	31,971円	2,670円

※受益者負担額については、週当たりの練習回数に応じ変動

【イメージ】週1回の活動の場合(月額)：2,670円÷5=534円

【参考データ②：人材バンク運営費(概算)】

- ・職員数は25名(コーディネーター15名を含む)で試算
- ・保護者からの指導費等の徴収や指導者への支払いについてはシステムを導入し運用

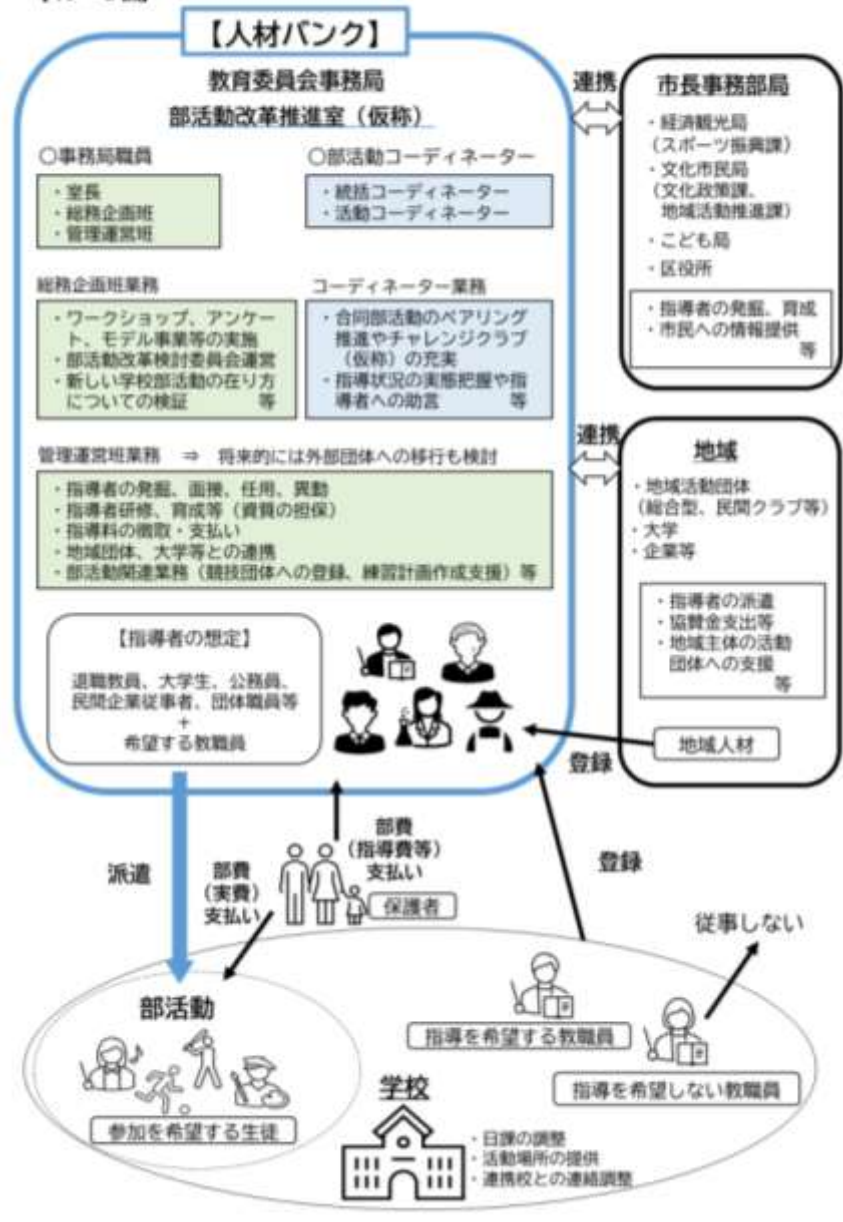
人件費	システム費	総額(E)	部員総数(F)	受益者負担50%	
				年額(G=E/F÷2)	月額(H=G÷12)
124,000千円	42,000千円	166,000千円	12,552人	6,612円	550円

(D) + (H) = 3,220円

他の自治体の取組4(熊本県熊本市) ※地域連携

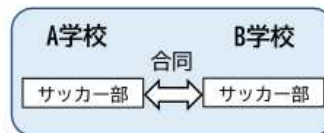
③ 今後の組織体制(人材バンク)

【イメージ図】



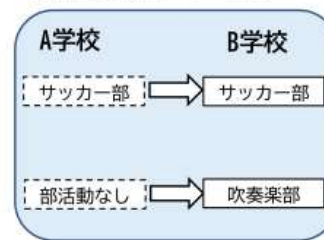
④ 【具体例】

・2校で合同部活動として活動



※指導者を全ての活動日には配置できない場合等

・拠点校部活動として活動



※指導者が十分にいない場合

※部員数が十分にいない場合

※生徒の希望する部活動(種目)が自校にない場合

⇒拠点となる学校で活動

⑤ 今後のスケジュール(最短例)

	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
		専門部署設置(直管)・運営・拡充			
		コーディネーターの配置・拡充			
		学校・保護者等への説明会			
ワークショップ アンケート等		人材バンクの設置・拡充 指導者の確保・育成・広報活動			
市長事務局・関係団体等との協議		各種モデル事業の実施・検証			
教職員等 支払い 法的整理		部活動ペアリング推進			
		関係団体への周知・協力依頼			
		企業等への支援依頼			
		受益者負担・報酬支払い等 制度設計・システム構築			
【指導費】 全ての指導者 への支払い 受益者負担 の徴収		新たな学校部活動開始			

最短で令和9年度から実施予定 (出典) 熊本市HPより 36

部活動の地域移行・地域連携の取組について（参考）

	地域移行	地域連携
目的	地域の多様な主体が運営・実施する地域クラブ活動によって、部活動を代替するもの。学校とも連携しながら、多様な活動を、可能な限り低廉な会費で実施する	複数校でまとまって一つの部活動とする合同部活動の導入や、部活動指導員等の地域の人材を活用することにより、あくまで学校で運営・実施しつつも、生徒の活動機会を確保する
主体	地域クラブ（受け皿と人材の確保）	学校（部活動指導員（人材）の確保）
保険	スポーツ安全保険（新たに保険加入（800円）が必要）	災害共済給付制度（既存の保険で対応可能）
推進計画対応	休日の部活動は実施せず、地域クラブで活動を行う。平日は学校部活動で実施。	休日の部活動を全て部活動指導員で実施
メリット	（生徒）顧問と比べて、より専門的な指導を受ける機会が増える （学校）休日の部活動がなくなるため、教員の負担を軽減	（生徒）これまでどおり、部活動の中で参加が可能 （学校）土日の教員（顧問）の一部の負担軽減が図れる （保護者）これまでどおりで負担が生じない
デメリット	（学校・生徒・保護者）顧問と地域指導者との連携や、外部指導者の資質に不安が残る。 （保護者）新たな費用負担が必要（謝金・保険代等）	（学校）地域移行と比べて教員の負担軽減につながらない
自治体	○長与町：令和5年度より休日のみ地域移行を実施。 ○掛川市：段階的に地域移行を進め、令和8年度の夏頃にすべての部活動を地域クラブへ移行するため部活動はなくなる。地域クラブ活動の現在の案では、野球は週2～4回の程度で年間300時間、会費が7～8千円。 ○山口県周南市も令和8年度に部活動を廃止して、地域クラブで活動を実施予定。詳細は未定。	○熊本市：新しい学校部活動の在り方、学校に人材を派遣し保護者からも受益者負担として50%を上限に徴収する

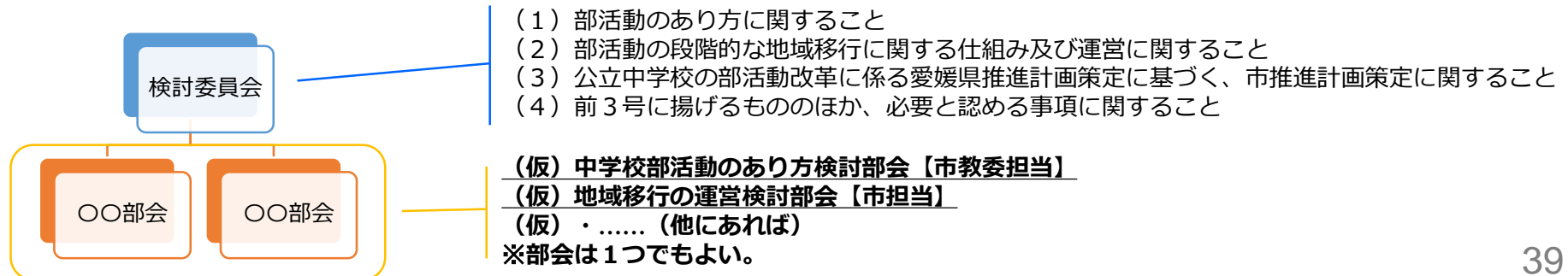
これから検討する上での考え方について

新居浜市における学校部活動及び地域移行の在り方に関する進め方案

1. 令和5年12月に実施したアンケート結果を踏まえると、**保護者の約8割、教員の8割以上が部活動の地域移行に賛成する旨の回答**があり、今後さらに、より具体的に部活動の地域移行の実施可能性についての検討を進める。ただし、保護者及び教員からは、指導者の確保や、顧問と外部指導者等の連携について、それぞれ心配事になっている点などを踏まえて、検討を行う必要がある。

2. 具体的を検討を進めるに当たり、検討委員会の下に部会を設けて、部活動の地域移行に関して新居浜市の実情に応じた検討を進める必要がある。部会で検討するに当たり、

- ・生徒アンケート結果から、放課後においてスポーツや文化活動を希望する回答が多いことから、地域移行により可能限り既存の活動を継続して実施する方策を検討する。
- ・休日の部活動に関しては、できる限り地域に移行（地域移行・地域連携）することを前提に検討を進める。
- ・既存の簿活動のほかに、軽運動や体力づくり、プログラミングなど生徒ニーズを踏まえた活動を検討する。



新居浜市内の小・中学校区域図

※表は令和5年5月1日現在の生徒数

川西地区

	1学年	2学年	3学年	計
西中	50	55	69	174
南中	181	178	145	504
北中	55	61	77	193
計	286	294	291	871

川東地区

	1学年	2学年	3学年	計
東中	105	123	119	347
川東中	167	172	163	502
計	272	295	282	849

上部地区

	1学年	2学年	3学年	計
泉川中	113	76	93	282
船木中	56	67	59	182
中萩中	148	142	164	454
大生院中	48	46	42	136
角野中	107	97	102	306
計	472	428	460	1,360

	1学年	2学年	3学年	計
別子中	7	6	6	19

	1学年	2学年	3学年	計
船木中心 びきま分校	2	5	4	11

新居浜市における学校部活動及び地域移行の在り方に関する進め方案

(仮) 中学校部活動のあり方検討部会【市教委担当（文ス局は副担当）】

<検討事項>

- ・ 合同部活動や拠点校方式による部活動の検討に関すること（エリアで分けて、子どもたち活動は担保）

単独で成り立つ部活動以外については、原則、川西、川東、上部（上部の中で複数分けることも可）に3つのエリアにわけて、それぞれのエリアで、合同部活動又は拠点校方式などの検討を行い、市内のすべての生徒が部活動を行い機会を確保する。さらに、3つのエリアでも人数が不足部活動（ハンドボール）や人数少数の武道（柔道や剣道）などについては、市内を1つのエリアとして、部活動の実施を検討する。

- ・ 休日の部活動の地域移行に関すること

部活動の地域移行を実施するまでに間に、日ごろ単独で実施している部活動についても、休日のみ合同練習を行うなどについて検討する。

- ・ 教員の兼業兼職に関すること（市には個別の規則はない）
- ・ 外部指導者と顧問の連携協力等に関すること
- ・ 外部指導者への指導に求めること（学校教育活動としての部活動）

<委員>

- ・ 校長、部活動顧問、部活動指導員、外部指導者、PTA、教育委員会等

新居浜市における学校部活動及び地域移行の在り方に関する方針案

(仮) 地域移行の運営検討部会【市担当（教委は副担当）】

<検討事項>

- ・ 地域移行する際の受け皿に関すること

市（任意団体設立含む）、スポーツクラブ設立、スポーツ・文化協会、文化体育事業団、CS校区、PTA等など、地域移行した場合の受け皿について検討を行う。※受益者負担

- ・ 指導者の確保に関すること

- ・ 市経団連等への連携・協力に関すること

- ・ 指導者の質の保証（研修等）に関すること

- ・ 施設利用に関すること

- ・ 学校や顧問との連携に関すること

- ・ 部活以外の軽運動やプログラミングなど、休日に活動できる事項に関すること

<委員>

- ・ スポーツ・文化協会、文化体育事業団、経済会、スポーツ少年団、市（文化スポーツ局の他、経済部等）等

新居浜市における学校部活動及び地域移行の在り方に関する方針案

【令和6年3月】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
国	改革推進期間・実証事業の実施（好事例の横展開） 休日の部活動の地域連携・地域移行の取組を進める			ガイドラインの見直し 更なる支援方策の検討 平日の地域移行？	
愛媛県	市町連絡協議会の開催（先進事例や課題の共有） 人材データベースの整備、充実 部活動指導者・地域クラブ活動指導者への研修会の実施			人材データベースの充実 研修会の実施	
	県方針・推進計画の策定				
新居浜市	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">市部活動検討委員会</p> <p style="text-align: center;">委員会</p> <p style="text-align: center;">部会の開催</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">アンケート調査の 実施・公表</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">市の推進計画・ 方針の策定</div> </div> </div>			<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> 新居浜市部活動地域移行 or 地域連携 の取組を市内全域でスタート </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 各校区ごとにコミュニティスクールを 活用して、特色ある活動を検討 </div>	
	国の実証事業（運動部+文化部） 2部活動 → 5部活動 → ○部+○部活動				